

加美町さ
住まいん

宮城県 加美町 移住ガイドブック

KAMI STYLE

[TAKE FREE]

ここで生きようと、決めた。



あなた発加美町行きの

切符はこちらです

やぐら山懐に

包まれた加美町。

手つかずのぶなの森、

毎日変わる風、

地域のあたたかい絆・・・

癒しの加美町と、

ボルダリングパーク、

温泉、プール、

地ビール園、

音楽ホール・・・

アクティブな加美町。



中新田図書館に
「ぼのぼの館」がオープン!



MIKIO IGARASHI



2021.1.22

そのバランスが

ちょうどいい。

加美町で、

もっともっと楽しめる

自分に出会えます。



Contents

加美町ってこんなところ
▶ 3・4

THE VOICE
「先輩移住者から
加美町のススメ」
▶ 5~8

あなたに伝えたい、
加美町民の声
▶ 9・10

加美町暮らし MAP
▶ 11・12

あなただけのために
加美町ご案内します
▶ 13

加美町移住 適正チェック
▶ 14

そこかしこに空き地があり、一緒に遊ぶ子どもたちが近所にいくらでもいました。そういう時間の中で、記憶しているふるさとの景色は、人生の財産とも言えるものです。

ぜひみなさんにも、ふるさとの景色に親しみ、お子さんと一緒に思い出を作っていたいただきたいと思います。



© いがらしみきお / 竹書房



加美町観光大使から
メッセージ

加美町観光大使・漫画家
いがらしみきお

わたしの年代の少年時代は、とても恵まれていました。

加美町ってこんなところ

Check

岩手県



加美町

山形県

宮城県

福島県

加美町は、山や川などの豊かな自然に囲まれた美しい町です。1年を通して伝統的なお祭りやスポーツイベント、コンサートが開催されており、パツハホールでは、毎月国内外の演奏家のコンサートが開かれています。我が町のパツハホール管弦楽団の定期演奏会も好評を博しています。豊かな食文化も魅力のひとつです。3つの酒蔵では、見学や試飲を楽しむことができます。やくらい山の麓の地ビールレストラン「ぶな林」では5種類の地ビールも味わうことができます。また、餅や手打ちそば、あゆ料理など、地元の美味しい食べ物を堪能できます。評判のラーメン店も数多くあります。車を走らせれば1時間で100万都市仙台へ行くことができます。大変便利で魅力的な町です。



東京駅から古川駅まで最短 1時間47分
八戸駅から古川駅まで最短 1時間20分



JR仙台駅からミヤコーバス 1時間15分
JR古川駅からミヤコー大崎バス 24分
JR西古川駅からミヤコー大崎バス 10分



東京方面から東北自動車道大和ICより20分
東北自動車道大衡ICより20分
盛岡方面から東北自動車道古川ICより20分
東北自動車道三本木スマートICより20分

観光スポット
観光スポット
まで

仙台駅から「やくらい」まで車で1時間10分
仙台駅から「陶芸の里」まで車で1時間15分
仙台駅から「花楽小路」まで車で1時間

エノキダケ

エノキダケが音符に似ていることから「白い音符」という名称で、音符をデザインした袋で販売しています。



やくらいジェラート

いろいろな味が楽しめるジェラートです。季節の山菜を使ったものや名物のワサビ、しょうゆを使ったジェラートまで！子どもから大人まで大人気です。

もち御膳

もち米の産地でもある加美町では餅文化が根付いています。「食彩市場どどんご館」で食べることができる「もち御膳」は地元のお母さんが丁寧に作っています。



あゆ 町魚でもある鮎は「宮城鮎工房」やふるさと納税にてお取り寄せすることができます。

旨いもの食べ歩き

移住までのステップ

STEP 1

どんな暮らしをしたいか、家族と相談する

どのような暮らしを実現したいのか、移住の目的を家族みんな考えてみるのが大事な一歩です。

STEP 2

加美町の情報を集める

加美町ってどんなところ? 仕事や住まい、子育て環境、移住者の声など HP など幅広く情報を集めてみましょう。

STEP 3

※1 加美町(ひと・しごと推進課)に相談する

加美町なら、電話・メール・面談(オンラインも可)などあなたに合った方法で相談できます。ホームページ内では、町が参加する移住セミナーなどのご案内もしています。

STEP 4

加美町に行ってみる

地域の雰囲気や生活環境などを直接確認しましょう。イベントにも参加して地域の方と交流するのもおすすめです。

STEP 5

仕事や住まいを見つける

加美町無料職業紹介所を開設し、ハローワーク、町内企業等と連携。相談員が個別に求人情報を紹介。また、町内の賃貸物件情報や、空き家バンクも HP で随時更新中。

STEP 6

加美町で暮らす

地域によって様々な習慣や文化があります。その地域に合った付き合い方を心がけ、加美町 LIFE を楽しもう!

※1

加美町役場ひと・しごと推進課

電話 0229-63-5611

FAX 0229-63-2037

メール hito-shigoto@town.kami.miyagi.jp

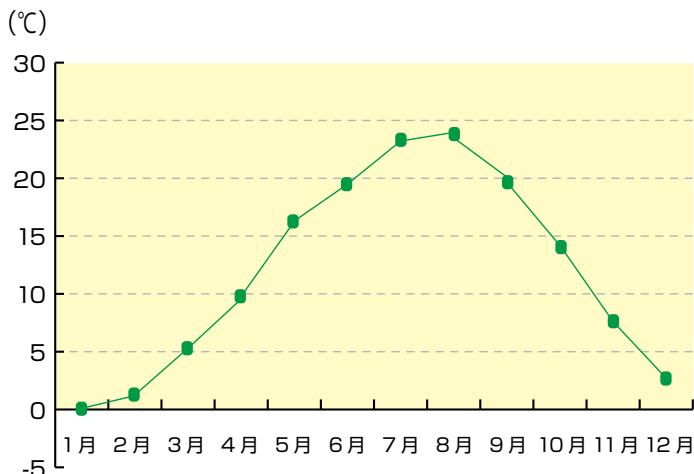
URL

https://www.town.kami.miyagi.jp/kurashi_tetsuzuki_ijuu/ijuu_teijuu/index.html



加美町の平均気温

2017年~2021年

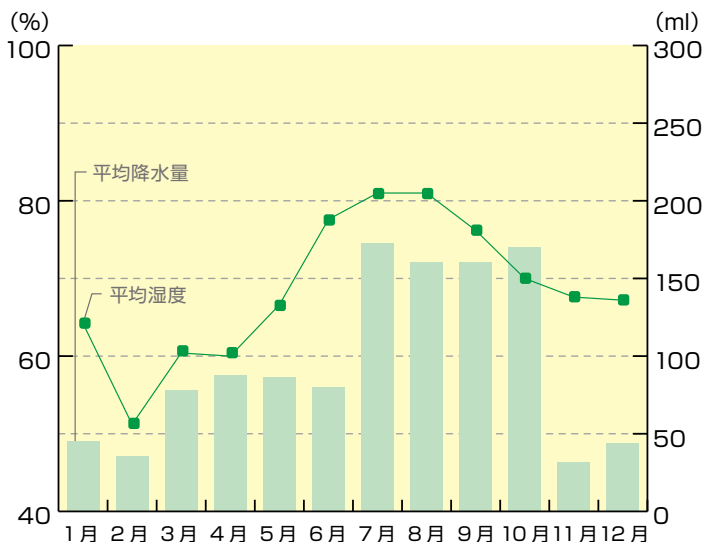


寒暖の差が大きい気候です。冬期間、西部山岳地帯は雪も多く、豪雪地帯に指定されています。しばしば氷点下となるため、夜間の水抜きが必要な場合もあります。

加美町の平均湿度・降水量

【湿度】2013年~2017年

【降水量】2017年~2021年



梅雨の時期は、雨も多く湿度の高い日が続きます。秋を過ぎると湿度も下がり過ごしやすくなります。



醤油 原料栽培から仕込み、蔵出しまで行う全国でも珍しい蔵元で、「吟醸」は農林水産大臣賞受賞の折り紙付きです。

日本酒 良質の米と水に恵まれた加美町で作られる日本酒は、品評会で金賞に輝くなどその技術力は全国的にも認められています。あなたのお気に入りを探してみてください。



やくらいビール 船形山系の天然水とドイツ伝統仕込みの製法の地ビールです。生きた酵母が生み出す自然の美味しさを是非お楽しみください。

次の世代につなげられる暮らしをしていきたい。

岸田 紗季さん



Profile

研究職を志し大学の農学部へ。水田の土壌データ分析を専攻したが、実際に体を動かして作る側の仕事がしたいと、平成28年4月地域おこし協力隊に。

3年の活動を経て、平成31年4月から就農。

Q 移住のきっかけは？

A 農業を始めるにあたって地域おこし協力隊の制度が最適と考え、加美町なら先輩隊員もおり何度か訪れたこともあったので：今は加美町を選んで正解だったと思います。

Q 加美町に来てみて感じたことは？

A 閉鎖的な環境を想像していましたが、温かく受け入れてもらい応援していただいています。私は都会育ち、はじめはなまりや雪の多さに苦労しました。引越してきて翌日には班の行事という事で念仏講を見学させてもらいましたが、そういった風習を知らなかった私は、「ああ、これはまずいところに来てしまったな：。」と思ったのを今でも鮮明に覚えています（笑）。

Q 地域おこし協力隊としてはどんな活動を？

A これまで、受け入れ先の上区城内営農組合で、稲作、畑作、おもちゃおはぎなどの加工、グリーンツーリズムに関する活動など様々な貴重な体験をさせていただきました。

学生時代、農学部では、技術や科学という観点で農業を学びましたが、3年間実際に農業に従事させていただいて、農業は継承していくもの、というイメージが強くなりました。世襲制という狭い意味ではなく昔からつくり続けてきた土、守ってきた種、知恵、風習など工業製品をつくることと違って、親から子へさらに次の世代へと受け継がれていくものがとても多く、それが魅力だなと感じます。

Q 協力隊期間が終わって就農に際して、迷いはなかった？

A 不安なことはたくさんあつて、今も不安でいっぱいなのですが、自分らしい選択かなと思っっています。必死でわくわくな日々です。

Q 今後の目標、将来の夢は？

A 自分のような研修生を受け入れられるようになりたい。



自分の農産物や加工品などのお客様がいて、地域に根差した農業を行いながら、人との交流を大事にするような仕事にしたいと考えています。

農業体験で受け入れた中学生の女の子から手紙が届き、「アイガモにエサをあげたのが衝撃的でした。食べ物に感謝してごはんを食べます。」というようなことが書いてあり嬉しかったです。

また、別の生徒は農業に興味を持ってくれ、農業高校に進学したとも聞きました。今後も加美町で地域の皆さんや移住仲間たちと次の世代につなげられる暮らしをしたいと思っています。

自分たちの考えるライフスタイルが叶えられる場所

熊田 雄治さん 麻友美さん 夫婦



Profile

神奈川県大和市に住んでいたお二人。キャンプにはまり、休日は郊外へ車を走らせる生活に。そんな時、ふるさと回帰支援センターへの相談をきっかけに今後の人生について話し合い、東北への移住を考えるように。

Q 移住のきっかけは？

A もともと加美町に移住とは考えていなかったんです。でも、宮城県を訪れていてふらりと加美町に寄った時、山の稜線がとてもきれいで…。加美町もいいなあって（笑）。

それからは、何度も足を運びました。加美町は駅が無いんです。今までは〇〇駅から△分という発想しかなかったのですが、初めは電車が無い、と思っていたのですが。結局は車で移動するのであんまり関係ないかと。

住むところについては、空き家や新築ということも考えましたが、お気に入りの場所を見つけてからでも遅くないということ、最初は賃貸アパートにしました。仕事は、夫は隣の市で働いています。

Q 加美町に住んでみて感じたことは？

A 船形山と薬菜山の夕焼けがきれいで大好きです。夜になると空が広いので星がたくさん見れます。そして、いい意味でのんびりしているので、心にゆとりがうまれました。

また、1年を通してイベントが多いので楽しいです。生活においては、コンビニ・スーパーなどが意外とあるので買い物には困りません。週末には土産センターに行き、新鮮な旬の野菜を買うのが楽しみです。地域の方も優しい方が多いですが、想像以上に方言が聞き取れず…驚きました（笑）。

Q 今後の目標・将来の夢は？

A 自分たちで食べられる分の野菜を作りたい。そして小さなカフェをやりたいと思っていますが、まずは加美町に慣れてい로운な方と出会うこと。ゆっくりいこうと話しています。

Q 今後、移住を検討する方にメッセージを！

A 特別、何かあるわけでもない。だからこそ、自分たちの考えるライフスタイルが叶えられる。これがこの町の良い

ところだと思っています。まずは一度、実際に足を運んでみてください。実際に町の雰囲気や景色、人に触れてみる事が移住するにあたって一番大切だと思えます。きっと実際に加美町に来たらこの町が好きになるはず！



これから生きる力を培う
原点は自然の中で遊ぶこと。

深 沢 知 里 さん



Profile

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所にて研究をしながら、12歳（中学校1年生）、10歳（小学校4年生）、7歳（小学校1年生）の三人の子どもを育てる。

Q 移住のきっかけは？

A 夫の仕事の関係で大崎市に住んでいたのですが、家を探していて加美町を訪れた際、里山の感じが他と違っていて、植物をはじめ生物が多様で、すごくいいところだなって。散歩していても、歩けば歩いただけ違う植物が出てくる。本当に楽しいです。もみじイチゴやウグイスカグラもいっぱい実をつけていて、子どもたちも自分で取って食べられるんです。これって実はすごいこと：ぜひここに住みたいって思ったんです。

Q 移住するのに、不安はなかった？

A 私は不安よりも自然豊かな地で暮らせることの喜びの方が大きかったです。都会の方が自然に入るとき、一番心配なのが、危険なものがいっぱいあって怖いってことだと思うんです。でも本当に危険なものって限られていて、そういう生き物との付き合い方を子どものこ

ろから学ぶことが大事。漠然と怖いじゃ前に進めない。具体的に何に気を付けるといのが分かってはじめて、自然という素晴らしい世界への扉が開くのだと思います。これは、都会にいては絶対できない経験ですよ。ね。

Q 自然豊かな加美町はほかにある中でどこが一番加美町に？

A 加美町は、四季折々の自然がすごい。夏はカブトムシが家に来ます。冬は雪遊びもできま

すが、雪で生活が滞るといいうほどではないです。野菜も新鮮、特にリンゴは種類も豊富ですごくおいしい。それでいてバツハホールなど文化的な部分もある。

それに人里離れた荒沢湿地も素晴らしい。湿地にハンノキが茂っているんですけど、春は水面をサーッと風がわたっていくのが見えるんです。それを見ているだけで日々の疲れが癒される。そんな原生林や奥山は、いつも危険と隣り合わせでどうやって入っていいか分からない。でも加美町には、そんな人でも一歩を踏み出すためのサポートをしてくれる人がいて…。ここに住みたいと感じさせる何かは、あります。

Q お仕事に不便はない？

A 仙台市内にも週何度か行きますが、1時間ちよつとで着きます。私の周りでも仙台まで通勤している人は結構いますよ。1時間で家のすぐわきをカモンシカが通っていく住環境が加美町にはあるんです。

Q 加美町での子育てはいかが？

A 学校までは距離がありますが、スクールバス・地域バスが充実しているので安心。放課後も児童館で18時まで預かってくれるので、仕事で帰りが遅くなっても、家にひとりということはないです。

人間は自然が無くては生きていけない。本当に分からないものになってしまつたら、生活は持続していかない。

子ども達の生きる力を培う原点は自然の中で遊ぶこと。共に生きていくために自然から様々なことを学んで、生きる力身につけてほしいですね。

